

## 水道橋病院小児歯科に来院された患者様へ

1. 現在、小児歯科では、「埋伏過剰歯の抜歯時期に関する検討」という研究を行っています。これは埋伏過剰歯（本来の数よりも多くできた歯で口の中に生えていないもの）のある患者様のCTを含むエックス線写真を用いて埋伏過剰歯の影響を調査することにより、埋伏過剰歯の抜歯の時期の決定、永久歯への影響を最低限にすることに役立つ目的として調査を行っています。
2. 調査の対象となるのは当院にて2010年1月から2014年12月の期間で過剰歯の検査のためCTを含むレントゲン写真を撮影した患者様です。
3. 性別、年齢、歯列の状態などについて、調査担当医師が対象となる患者様の症例調査票を作成します。
4. 症例調査票には、住所・氏名などの患者様の個人が特定される情報が入力されることはありません。
5. 本研究の成果は学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前や個人を特定する情報公表されることはなく、個人情報を守られます。
6. 本調査研究は、本講座研究費を使用して行われます。
7. 本調査研究の内容は、東京歯科大学倫理委員会による審査を経て承認を受けています。
8. 本研究について質問あるいは疑問がある時は、下記担当医、あるいは問い合わせ窓口に御連絡ください。

問い合わせ窓口 東京歯科大学水道橋病院小児歯科

03-5275-1723

研究代表者 辻野啓一郎（小児歯科学講座講師）

担当医 櫻井 敦朗（小児歯科学講座講師）

新谷 誠康（小児歯科学講座教授）

## 千葉病院小児歯科に来院された患者様へ

1. 現在、小児歯科では、「埋伏過剰歯の抜歯時期に関する検討」という研究を行っています。これは埋伏過剰歯（本来の数よりも多くできた歯で口の中に生えていないもの）のある患者様のCTを含むエックス線写真を用いて埋伏過剰歯の影響を調査することにより、埋伏過剰歯の抜歯の時期の決定、永久歯への影響を最低限にすることに役立つ目的として調査を行っています。
2. 調査の対象となるのは当院にて2010年1月から2014年12月の期間で過剰歯の検査のためCTを含むレントゲン写真を撮影した患者様です。
3. 性別、年齢、歯列の状態などについて、調査担当医師が対象となる患者様の症例調査票を作成します。
4. 症例調査票には、住所・氏名などの患者様の個人が特定される情報が入力されることはありません。
5. 本研究の成果は学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前や個人を特定する情報公表されることはなく、個人情報を守られます。
6. 本調査研究は、本講座研究費を使用して行われます。
7. 本調査研究の内容は、東京歯科大学倫理委員会による審査を経て承認を受けています。
8. 本研究について質問あるいは疑問がある時は、下記担当医、あるいは問い合わせ窓口に御連絡ください。

問い合わせ窓口 東京歯科大学千葉病院小児歯科

043-270-3915

研究代表者 辻野啓一郎（小児歯科学講座講師）

担当医 本間宏実（小児歯科学講座助教）

熊澤海道（小児歯科学講座助教）

田中公子（小児歯科学講座助教）